

平成 20 年度春期 システム監査技術者 午後 試験 解答速報

(株)アイテック 情報技術教育研究部

2008,4,23 発表

問 1 運用業務の監査

設問 1 基盤管理課長が登録結果リストと運用スケジュール表を照合して内容の一致を確認する。

設問 2

- (1) オペレータが不正目的で作業依頼以外の処理をして、それに関連する部分のログをプリントせずに隠蔽する。
- (2) オペレーションログは、作業を実施したオペレータと別の者がすべて印刷した上で、オペレーション管理者が確認を行う。

設問 3

- (1) 承認印だけを確認しているが、基盤管理課長が照合を行わないで、承認印を押してしまっている可能性がある。
- (2) 登録内容表と本番リリース依頼書の内容を照合し、基盤管理課長の照合作業がきちんと行われていることを確認する。

問 2 キャッシングサービス関連システムの監査

設問 1

について

プログラム仕様書通りのシステムになっている事を確認するため、運用テスト結果の確認が必要である。

について

ネットシステムで暗証番号の変更を行うことができるので、暗証番号設定ポリシーの準拠を確認する必要がある。

設問 2 プログラムの総当り方式で数式を発生させ暗証番号の推定と盗用が行われるリスク

設問 3

入出力画面において

画面入力した暗証番号を非表示にする

ログファイルにおいて

ログファイルの暗証番号を暗号化する

設問 4 新規提携の 3 金融機関だけでなく従来からの提携金融機関も対象としてサンプルを選ぶ必要がある。

「別解」 テスト印字結果の閲覧だけでなく、実際の運用段階における印字結果を確認する必要がある。

問3 コールセンタシステムの監査

設問1

(1) 社内LANのトラフィックが高くなったときに、外部からの電話が繋がらなったり音声品質が落ちる。

(2) 内線電話網に係る電文の優先順位を他のデータ通信の電文よりも高くする。

設問2 過去の音声記録の分析が不十分で応答パターンの登録内容が適切でないために、適切な応答ができていない可能性がある。

設問3

(1) 顧客との対応時間が一定時間を越えているものを抽出する。

(2) 過去の通話件数などから適切なディスク容量が確保されていることの確認と、バックアップの方法が適切かを確認する。

問4 契約管理システムの監査

設問1

資料1について

申請入力面倒なので、契約を未締結のまま取引が進行している可能性がある。

資料2について

テンプレート登録が面倒なので重要な契約項目が不備なまま標準タイプで契約をしている。

設問2

基準 申請テンプレートの登録件数が多い課

その理由 新たに発生する契約が多く重要な項目漏れが発生するリスクが高い

設問3

承認ルートやテンプレート申請手続きについて周知徹底がなく情報が不足している。

〔別解〕課長の不在が多く、現在どの承認ルートが存在するかの情報が不足している。

設問4

各事業部の契約担当が登録した承認ルートについて、課長が申請したことの文書確認をする。

承認ルートに設定された権限者は課長、及び事業部長以上の責任者であることを確認する。

アイテックホームページ

www.itec.co.jp